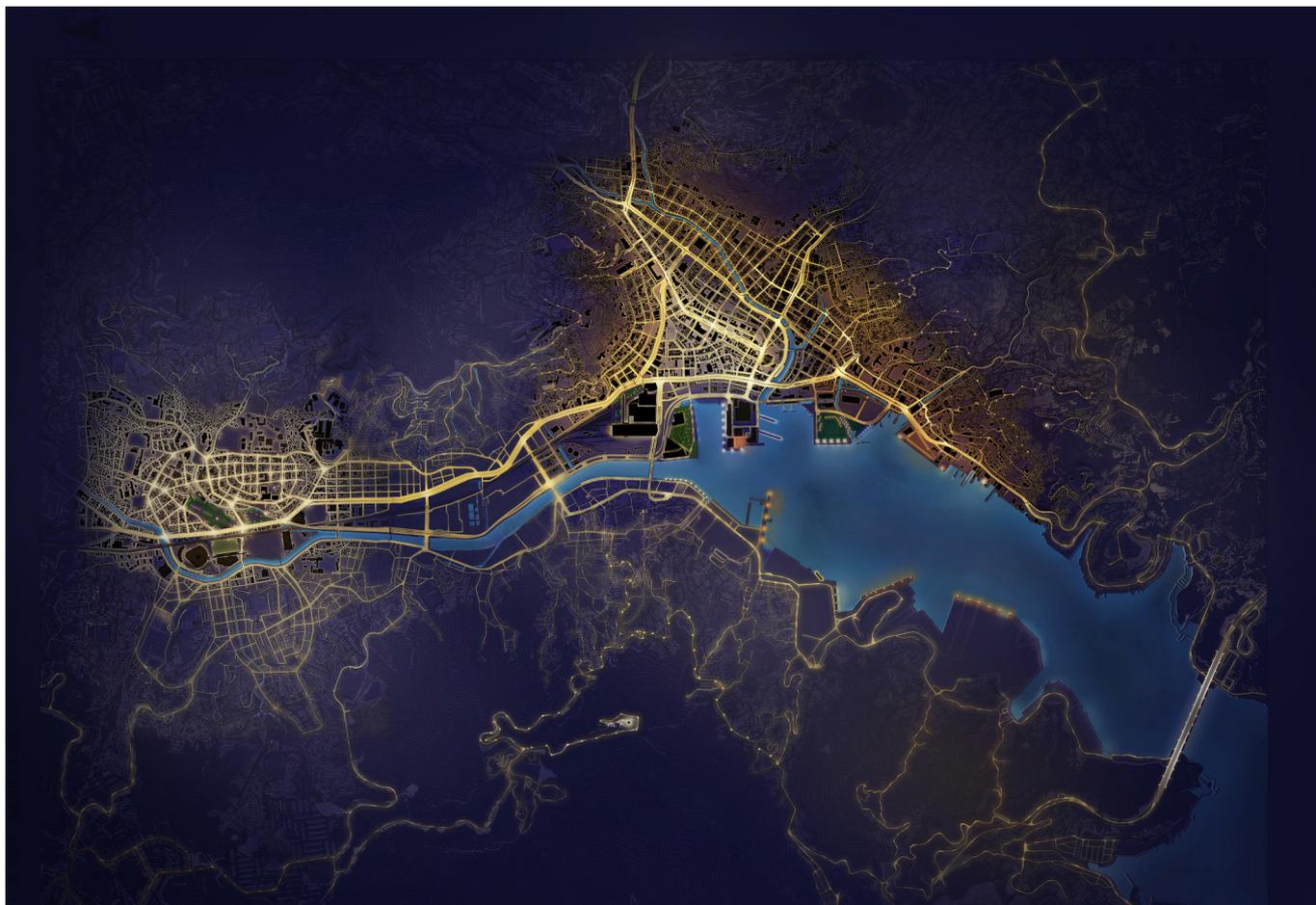


# 環長崎港夜間景観向上基本計画（概要版）

平成 29 年 5 月  
長崎市



## ■目次

1	本計画について	1
2	長崎の夜間景観が目指すもの	1
3	7つの視点	3
4	夜間景観向上のためのガイドライン	3
5	光の歳時記	15
6	今後の取り組み	15

# 1 本計画について

## 1-1 目的

本計画は、長崎の歴史や文化を感じ、市民に愛されるふるさとの風景となる夜景づくりを通じて「世界一の夜景都市」となることを目指し、遠景及び中・近景の観点から必要な取り組みについて体系的にまとめ、戦略的に夜間景観の向上を図るための基本的な考え方を示すことを目的とします。

## 1-2 計画区域

本計画の対象区域は、主要な視点場である稲佐山並びに鍋冠山展望台からの視認される環長崎港一帯の市街地とし、特長ある地区については、中・近景における夜間景観向上を重点的に行うため、ライトスケープ基本計画や長崎市観光振興計画 2020、長崎市景観計画における重点地区を基に、観光施設等が集中する 10 エリアを「夜間景観向上重点エリア」として設定します。



# 2 長崎の夜間景観が目指すもの

## 2-1 これからの都市照明とは

19世紀末、「安全性」のため、初めて電灯が街路灯に使われました。以来、「美しさ」「快適性」「環境への配慮」、そして「都市の個性の表現」へと、都市照明が求められる要素は広がっています。こうした要素を満足するため、夜間景観向上における7つの視点と、長崎の個性の表現する3つのコンセプトを設定します。





## 2-2 長崎夜景のコンセプト

景観基本計画における景観類型や現地調査等により、以下の3つのコンセプトを設定します。

### 「港へ流れ込む輝き」

- ・斜面市街地の地形を生かした光
- ・水面に映り込むきらめき
- ・港町と坂道的情緒

海に向かってすり鉢状になっている市街地は、坂を少し上るだけで、眼下に港へと繋がる街並みを臨むことができます。地理的な特色は、現代においては、遠景を俯瞰できる良好な視点場に恵まれていること、斜面地ゆえに視界が開けやすいこと、という景観の実質的な利点になっています。

長崎の夜間景観は、海を囲む地形を最大限に生かした美しさを表現する必要があります。それは、誰もが心に抱く、港町に息づく憧憬を感じさせてくれる輝きになるのです。

### 「おおらかに彩られたまち」

- ・まちの個性を表現する光
- ・和華蘭の文化を感じ取れる景色
- ・観光と暮らしが両立した街並み

長崎の文化は、大陸や西洋から渡来した様々なものを真っ先に受け入れた懐の広さゆえ、和も華（中国文化）も蘭（西洋文化）もちゃんぽんになった唯一無二の「和華蘭（わからん）文化」と呼ばれています。豊かな表情をひとまとめにするのではなく、それぞれの地区の個性を演出しながら、訪れた人が感じる魅力と、そこに住む人が抱く歴史と文化に対する誇りとが、自然に溶け合っていること。

様々な彩りがおおらかに混じりあっている景色こそ、長崎にふさわしいのです。

### 「祈りを誘う灯り」

- ・長崎の歴史を感じさせる光
- ・心をゆさぶる美しさ
- ・非日常に出会う体験

長崎のまちには「祈り」の歴史が堆積しています。極東を目指した異国の宣教師たちの思い、密かに守り続けられたキリシタン信仰、秋の大祭「長崎くんち」にかける町人達の熱意、日本を変えようとした英雄の志、そして原爆の記憶と平和への願い。長崎の歴史を辿ることで、過去から現在に繋がる様々な「祈り」の感情に出会うことができます。

長崎のまちの光には、ふとした瞬間にまちの歴史に思いを馳せ、祈りの感情を想起させるような灯りが必要です。

### 3 7つの視点

コンセプトを実現するため、基本的に求められる品質を「長崎における都市照明のための7つの視点」として示します。

視点	内容
快適な陰影	適光適所の心地よさを追求する
適正な色温度対比	まちの個性に寄り添う
グレアフリー	目に優しく美しい景観をつくる
鉛直面の明るさ	まちなみを印象付ける
演色性への配慮	まちの表情を豊かに見せる
高効率照明器具	エコロジカルで経済的に照らす
オペレーション	季節や時間を感じさせる

#### ■用語集

グレア… 不要かつ不快な眩しさのことです。

色温度… 光源固有の色味を表す数値のことです。色温度が低いほど暖色系の光、色温度が高いほど寒色系の光となります。  
単位にはK(ケルビン)が用いられます。

照度… 単位面積当たりに入射する光束の量を表す数値であり、光によって照らされる面の明るさの程度を表しています。  
単位にはLx(ルクス)が用いられます。

輝度… ある特定の方向に対する光の強さ(面積あたりの光度)を表す数値であり、人の目に飛び込んでくる明るさや光の強さを指す言葉として用います。単位にはcd/m2(カンデラ/平方メートル)が用いられます。

演色性… 光源による色の見え方(再現性)の良し悪しを評価する指標のことです。

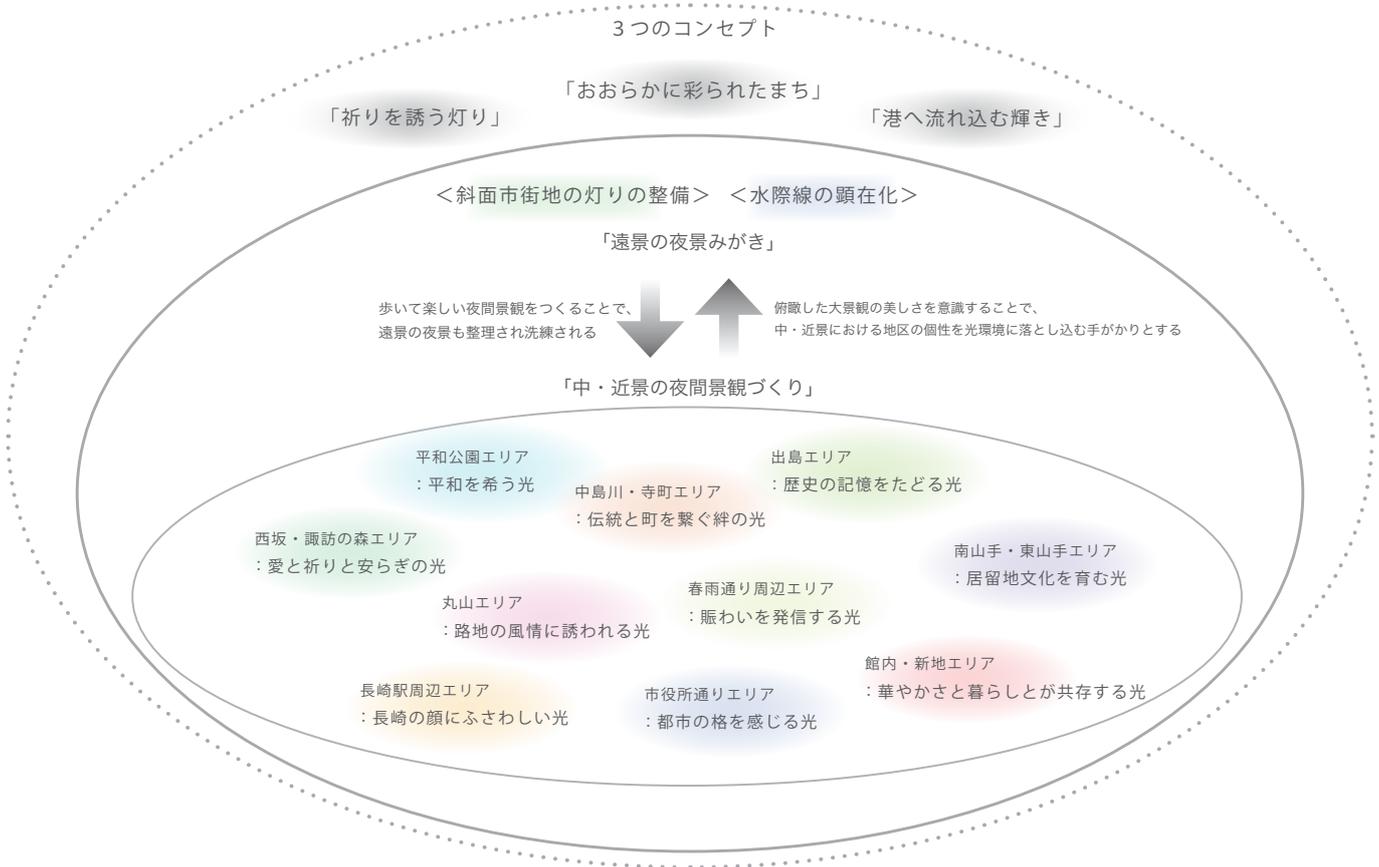
単位にはRa(アールエー)が用いられます。基準光で見た色の忠実さをRa100(満点)として評価されます。

オペレーション… 「操作・運用」という意味です。季節や時間に応じて、照明の明るさや色を変化させる光の運営という意味で用いられます。

### 4 夜間景観向上のためのガイドライン

#### 4-1 全体の考え方

コンセプトに基づき、遠景の夜景の魅力をもっと高めるための「遠景の夜のみがき」と、長崎さるくに代表されるまち歩きの魅力を夜間においても高めるという視点から、「中・近景の夜景づくり」に取り組みます。遠景と中・近景の夜景が相互補完的に高め合うことで、夜間景観の向上を目指します。



4-2 遠景の夜景みがき

■視点場の設定と現状分析

視点場	特徴	課題
稲佐山展望台	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地の灯りを真正面から広がるパノラマで眺めることができる。</li> <li>市街地の灯りの前に、長崎港や浦上川といった水面が横に広がっており、港町らしい水際線を感じやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面市街地の灯りが夜景に直結するが、近年、空き家や空き地が増加している。</li> <li>水面に映り込む光の要素が少ない。</li> </ul>
鍋冠山展望台	<ul style="list-style-type: none"> <li>眼下にまちの灯りが連続し、迫力と遠近感を感じることができる。</li> <li>稲佐山鉄塔や女神大橋などの、ライトアップされたランドマークがよく見える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対岸の斜面市街地が暗く感じられる。</li> <li>対岸の水面に映り込む光が少なさが目立つ。</li> <li>市街地に近いため、グレアを感じやすい。</li> </ul>

■方針

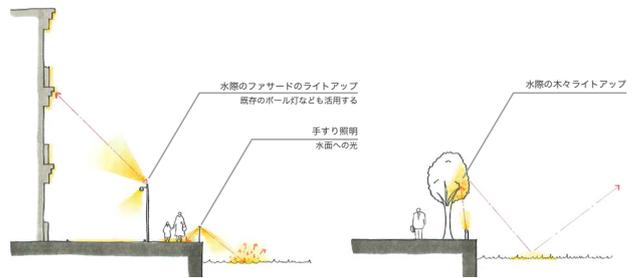
① 斜面地市街地の明かりの整備

- ・長崎らしい街路照明（長崎灯）の整備
- ・アクセントとなる街路照明整備
- ・ランドマークのライトアップ

② 水際線の顕在化

(取り組み例)

- ・水際に近い建物ファサードのライトアップ
- ・水際に近い植栽の整備とライトアップ
- ・護岸を活用した手摺照明
- ・橋梁等のランドマークの効果的なライトアップ



手法イメージ



長崎らしい遠景が実現されたイメージ

平和公園地区においては、3000K程度を基調としながら、清廉な印象を感じさせることを意図して部分的に白色(4000～5000K程度)の照明も使用します。

一般的な市街地は、温かみのある3000K程度の色温度を基調とし、落ち着いた、居心地の良い光環境をつくる。

山手の地区は、クラシカルな高級感を醸し出すため、ランプの色味に近い2700K程度の低い色温度を基調とします。

繁華街である春雨通りや、オフィス街である市役所通りのように、活動的な要素がある地区においては3500K程度まで色温度を高くすることも検討します。

中島川・寺町地区などのように、歴史情緒を感じさせる地区においては、2700K程度まで色温度を低くすることも検討します。

4-3 中・近景の夜間景観づくり

「歩いて楽しいまち」を夜間においても実現するため、3つのコンセプトと各地区の景観的な特徴に基づき、各エリアのコンセプトを設定し、「点と線」による魅力的な夜間景観づくりに取り組みます。

■方針

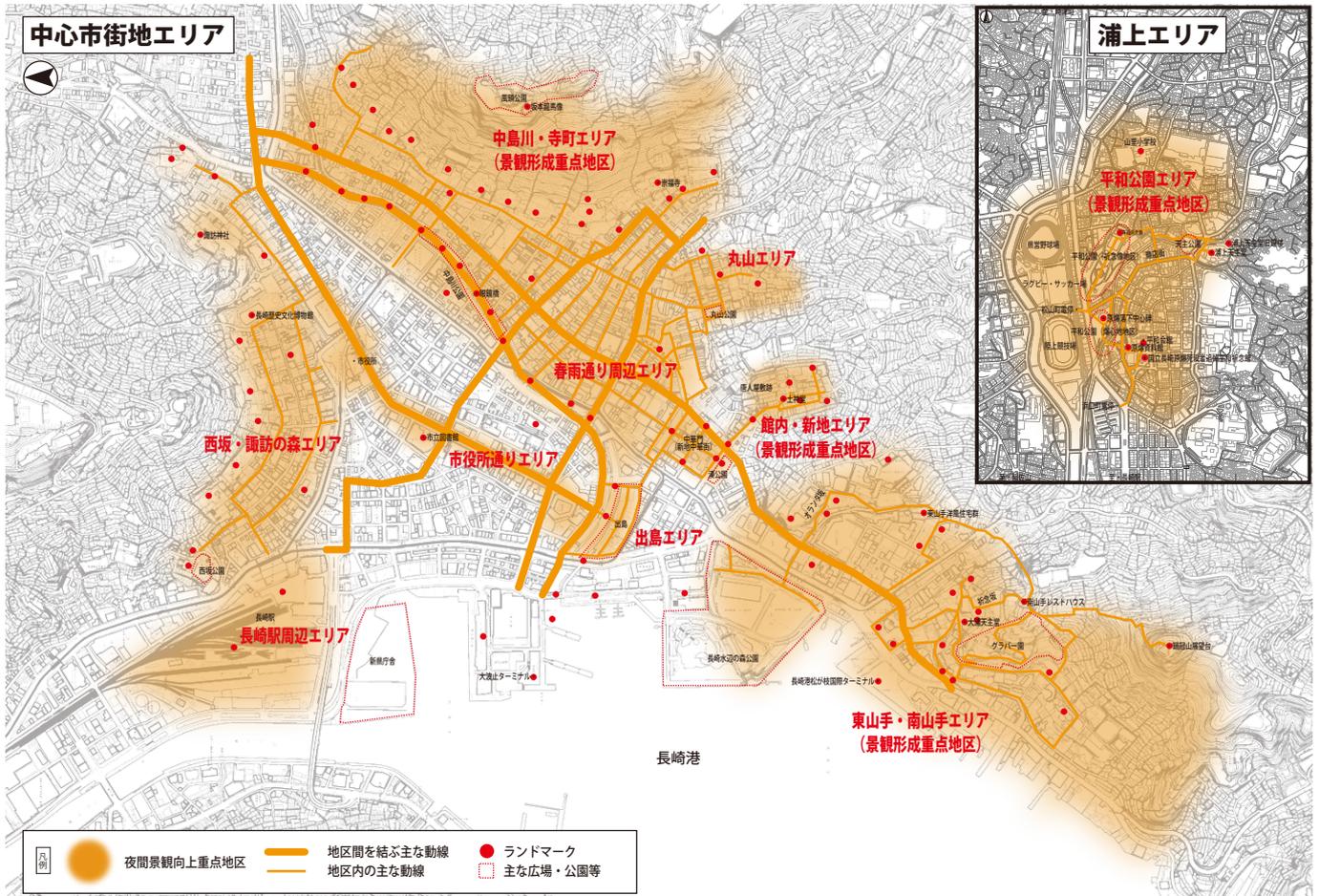
① 基本原則の設定

「長崎における都市照明のための7つの視点」を基に、各地区の実情に応じた「照明7原則」を設定し、地区全体で取り組むべき方向性を示します。

② ランドマークの灯りの整備（点づくり）文化財や景観重要建造物、都市景観賞受賞作品等のランドマークで、ライトアップが有効な建造物等については、照明施設の整備を推進します。

③ 軸線の灯りの整備（線づくり）

地区間を繋ぐ主な動線と、地区内のランドマークや各観光施設間を繋ぐ主な動線を設定し、夜間景観に配慮した照明施設等の整備を行います。



# 平和公園エリア

## ■コンセプト

### 平和を希う光

訪れたすべての人が平和への祈りを思い起こさずにはられないような、敬虔な感覚を呼び起こすこと  
 ができる夜間景観の形成を目指します。

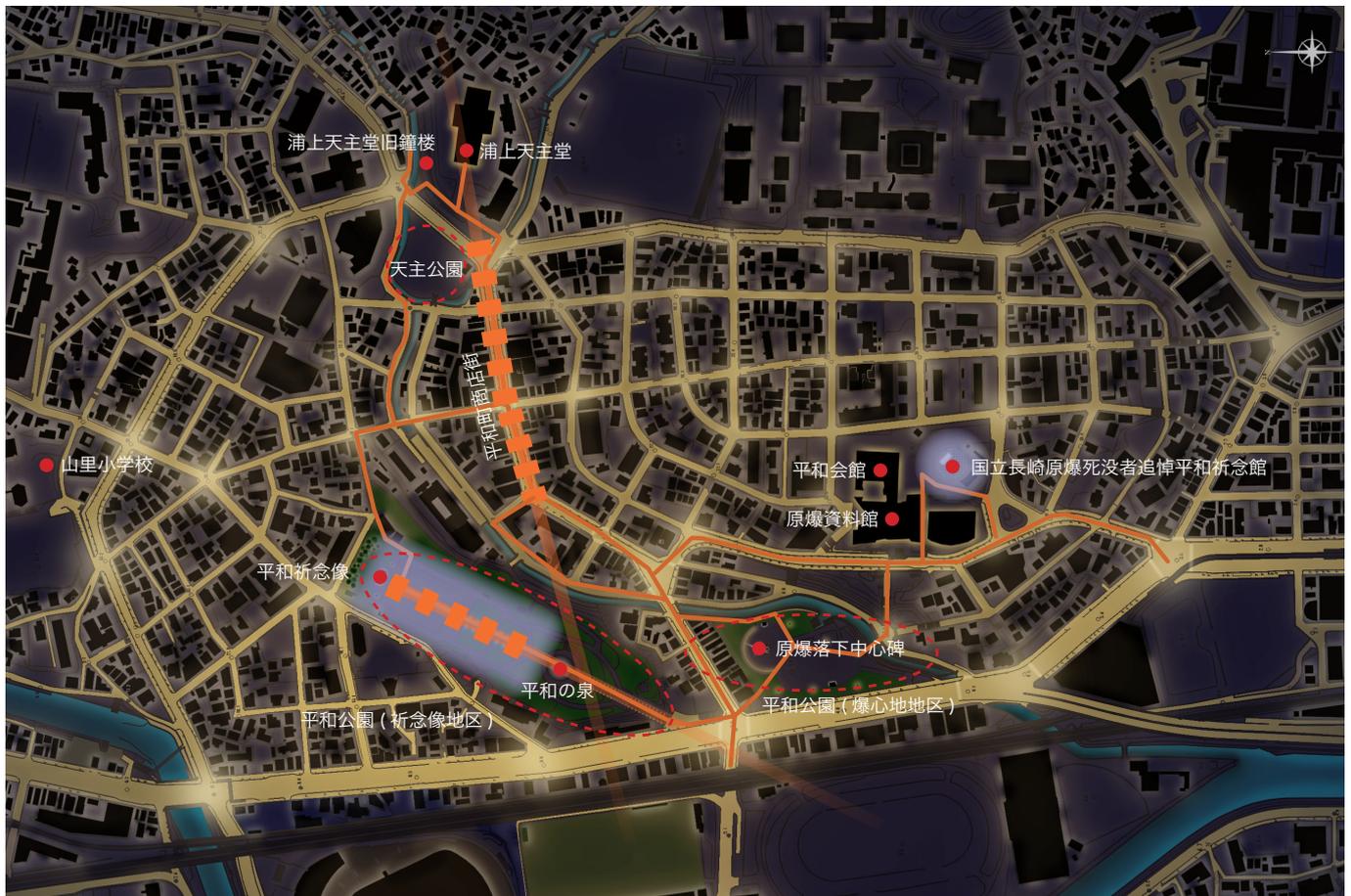
## ■方針

- 平和祈念像等のランドマークは、繊細な陰影のあるライトアップを行います。
- 平和祈念像や浦上天主堂への視軸線を光によって顕在化します。
- 平和公園は聖域にふさわしい光環境とするため、公共照明を見直します。
- 主要な動線上にある公共照明を見直し、夜間の回遊性を高めます。



## ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	広場 0.5-1Lx 程度、動線 2-20Lx 程度
	歩道 1Lx 程度、横断歩道 10-20Lx 程度
色温度	3000K、際立たせたい対象 5000K
	3000-3500K 程度 (平和町商店街)
鉛直面輝度	祈念像やモニュメント、植栽等にライトアップ
	店舗からの漏れ光を推奨 街路樹のライトアップ (平和町商店街)
グレア対策	ポール灯を減らし、低い位置の機能照明
	ライトアップは遮光型の器具、フットライトと配光制御されたポール灯 (平和町商店街)
演色性の優先度	Ra80 以上
器具	LED を基本、デザインを統一、適切な維持管理
オペレーション	平和祈念式典等と連動した特別なオペレーション 時間によるライトダウンを検討



## ■整備イメージ



平和公園 (祈念像前広場)



平和公園 (爆心地)



松山町大橋町1号線

# 出島エリア

## ■コンセプト

### 歴史の記憶をたどる光

鎖国期から明治期に至るまで、それぞれの時代の建物の表情を生かしながら、かつての街並みを歩く楽しさを感じられる夜間景観の形成を目指します。

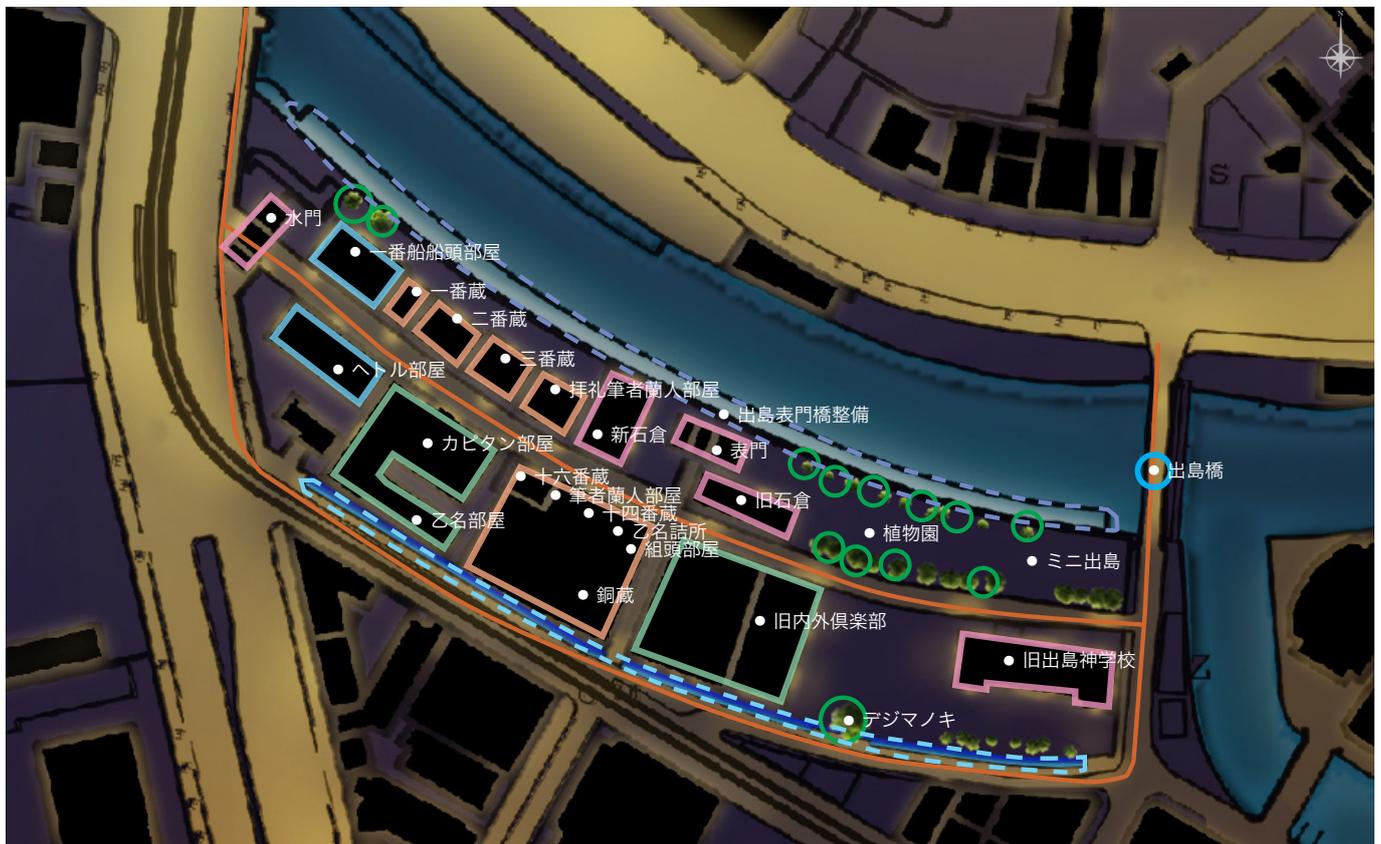
## ■方針

- ・ 建物は、それぞれの文脈に応じた様々な漏れ光の演出手法により、重層的なまちの歴史と文化を演出します。
- ・ 水際の白壁や植栽等を積極的にライトアップし、美しく映える水景をつくります。

## ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	1-10Lx 程度
色温度	漏れ光 2700K 程度、ライトアップ 3000K 程度、カラー照明は原色ではなく品のある色と光量
鉛直面輝度	建物からの漏れ光、行灯の輝度を抑える
グレア対策	グレアの無い納まりと器具選定
演色性の優先度	Ra90 以上
器具	LED を基本
オペレーション	時間によるライトダウンを検討 施設閉館後の通行者にも快適な照明

- … 主な動線
- … 漏れ光演出①：窓の障子をスクリーンに、室内のシルエットを影絵として映す
- … 漏れ光演出②：日本人商人の部屋を意識し、ゆらぎ調光の LED や天井への間接照明で行灯のような光を見せる
- … 漏れ光演出③：オランダ人の部屋を意識し、天井シャンテリア等の埋め込みを直接見せる
- … ライトアップ：外壁への照明を併用する（ただし投光器による大雑把なライティングは行わない）
- … 植栽をアップライトするエリア
- … 橋梁のライトアップ
- … 白壁のライトアップ
- … 南側水路のライトアップ



## ■整備イメージ



出島北側



中央通り



南側

## 西坂・諏訪の森エリア

### ■コンセプト

#### 愛と祈りと安らぎの光

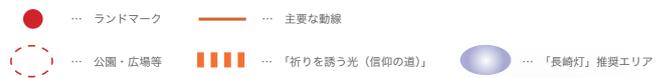
人々の暮らしが根付いている場所で、ふと顔を出す祈りと信仰の歴史資産にさり気なく光をあて、落ち着いた心地よい夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

- ・西坂教会や諏訪神社等のランドマークは、適切なライトアップを行います。
- ・諏訪神社や松森神社の参道、西坂の丘から長崎港への軸線を光によって顕在化する。
- ・長崎歴史探訪路を主要な動線として公共照明を見直し、夜の回遊性を高めます。
- ・駅前商店街は、長崎駅周辺地区との連続性を大切にします。

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	広場 1Lx 程度、動線 1-20Lx 程度
	5-30Lx 程度 (駅前商店街)
色温度	2700-3000K 程度
	3000K 程度 (駅前商店街)
鉛直面輝度	ランドマークを意識的に照らす、視線の先をライトアップし奥行きのある光 現状を維持 (駅前商店街)
グレア対策	グレアに配慮されたポール灯
演色性の優先度	Ra80 以上
	Ra90 以上 (駅前商店街)
器具	LED を基本、配光制御されたポール灯
オペレーション	時間によるライトダウンを検討



### ■整備イメージ



西坂公園



諏訪神社



松森神社の通り

## 中島川・寺町エリア

### ■コンセプト

#### 伝統と町を繋ぐ絆の光

長崎における「和」の表情を存分に演出すると共に、市民も観光客もそぞろ歩きを楽しみ、人と人との繋がりがや温かさに触れられる時間を演出できる夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

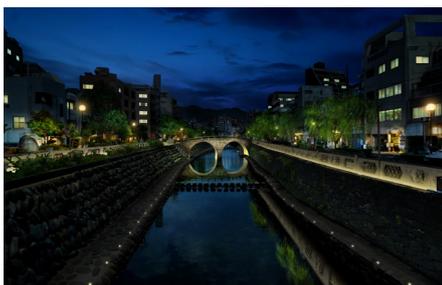
- ・中島川周辺は、橋梁群等のランドマークは、印象的なライトアップを行います。
- ・中通りは、江戸時代の旧町の交差点をハイライトし、各町の個性を表現した行灯や門灯の設置を推奨することで、歴史と賑わいを感じさせます。
- ・中島川公園は、植栽のライトアップと低く設定したベース照明により、そぞろ歩きをしたくなるような光だまりをつくります。
- ・寺町通りは、寺の山門や石垣等のランドマークを適切にライトアップします。

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	2-20Lx程度、リズムのある陰影づくり
色温度	商店街 3000K程度、その他 2700-3000K程度
鉛直面輝度	川沿い樹木、橋、寺社群、石垣等ライトアップ 商店街の閉店後の残置照明を推奨 自動販売機は夜間景観に配慮
グレア対策	グレアに配慮されたポール灯や防犯灯
演色性の優先度	Ra90以上
器具	LEDを基本、和風の照明デザインに統一
オペレーション	時間によるライトダウンを検討



### ■整備イメージ



中島川公園



アルコア中通り商店街



寺町通り

## 丸山エリア

### ■コンセプト

#### 路地の風情に誘われる光

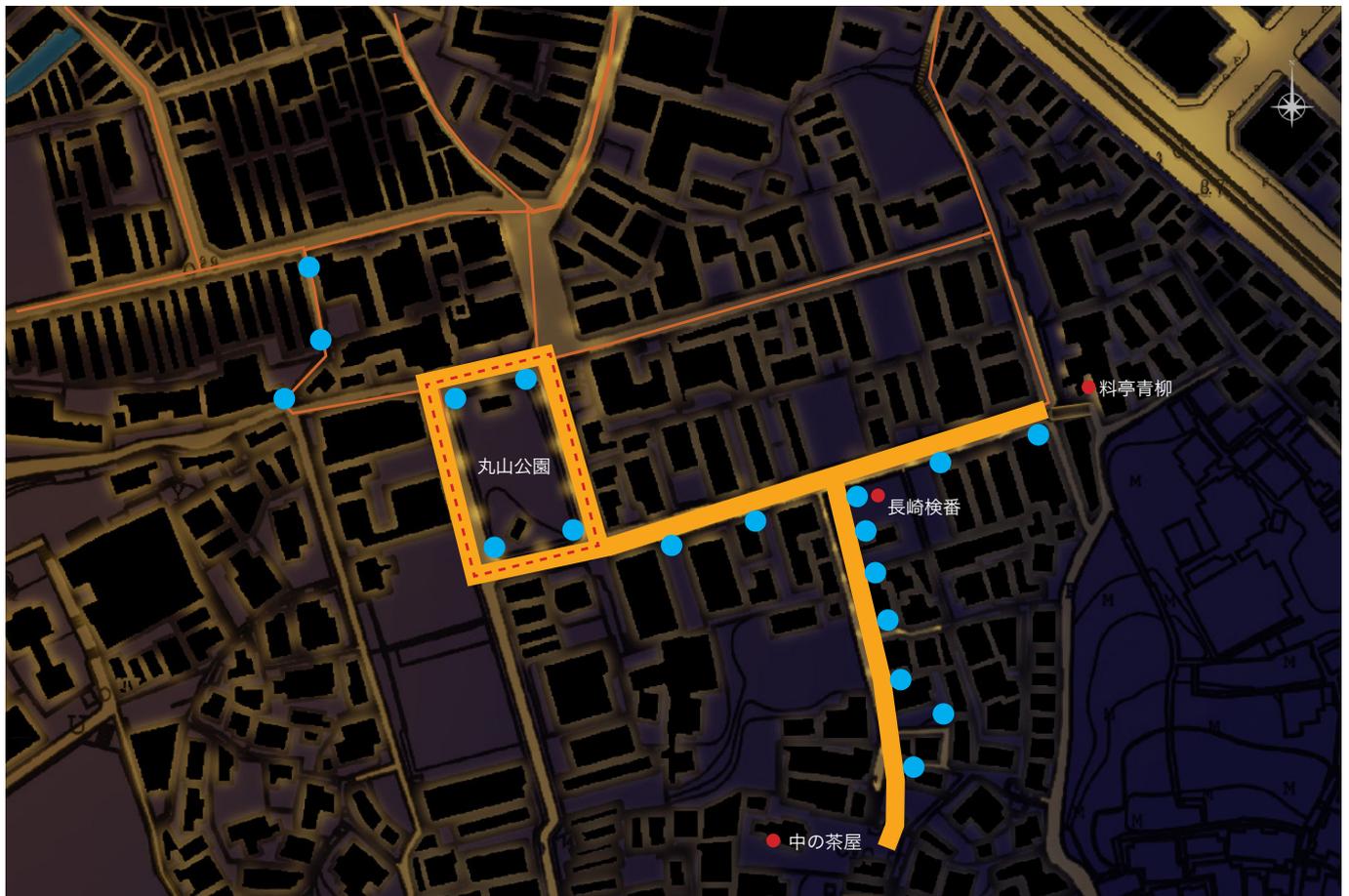
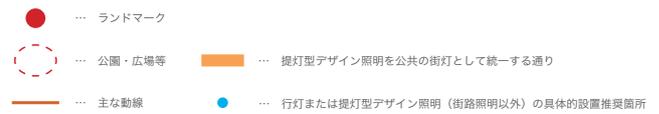
まちの風情を感じてもらうため、路地の灯りや建物からの漏れ光により、さりげなく人々を誘い込むような夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

- ・料亭や石積み等のランドマークは、繊細なライトアップを行います。
- ・夜間に多くの人々が利用する丸山公園の照明を見直します。
- ・和風の意匠で統一された街路灯を効果的に展開します。
- ・通り沿いに行灯や門灯を設けることを推奨します。

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	1-20Lx程度、情緒のある陰影
色温度	2700-3000K程度
鉛直面輝度	自動販売機は夜間景観に配慮 建物からの漏れ光
グレア対策	グレアに配慮されたポール灯
演色性の優先度	Ra80以上
器具	和風の灯具に統一
オペレーション	特記事項なし



### ■整備イメージ



丸山通り

## 館内・新地エリア

### ■コンセプト

#### 華やかさと暮らしとが共存する光

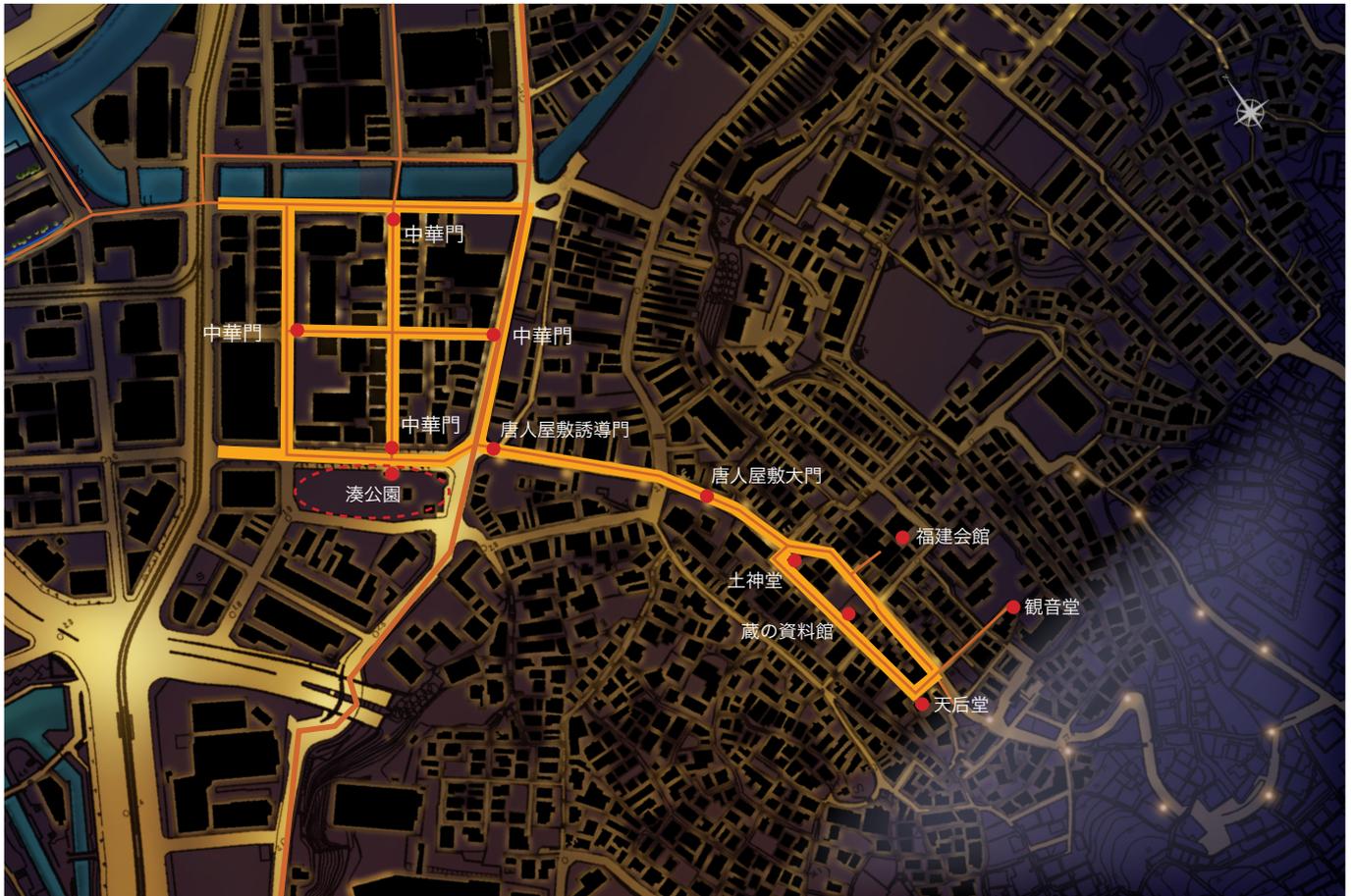
長崎における「華」の表情を存分に演出すると共に、住宅地における心地よさも両立させ、エリアごとの演出やイベント時におけるオペレーションにも考慮した夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

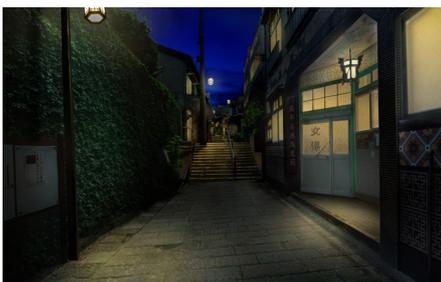
- ・中華門やお堂等のランドマークのライトアップを推進します。
- ・意匠が統一された街路灯を連続的に設置することで、地区内を華やかに繋ぎます。
- ・中華街等の人通りの多い場所は、建物からの漏れ光や看板照明により賑やかさを演出します。
- ・ランタンフェスティバル時には、合わせて効果的なオペレーションを行います。

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	1-20Lx 程度
色温度	2700-3000K 程度
鉛直面輝度	看板照明、建物からの漏れ光を活用
グレア対策	グレアに配慮した防犯灯、ライトアップはグレアのない納まりと器具選定
演色性の優先度	路地 Ra80 以上、人通りの多い場所 Ra90 以上
器具	エリアの特製に応じ、ポール灯デザインを統一
オペレーション	長崎ランタンフェスティバル等の催事に合わせた特別な演出



### ■整備イメージ



唐人屋敷中通り



土神堂前



中華門

## 東山手・南山手エリア

### ■コンセプト

#### 居留地文化を育む光

長崎における「蘭」の表情を存分に演出するとともに、観光客にとっての魅力と、そこに暮らす人にとっての快適さや誇りをともに高められるような夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

- ・洋館や教会等のランドマークは、漏れ光を主体とした繊細なライトアップを行います。
- ・特徴ある坂の街並みを美しい光で整え、港町の情緒を演出します。
- ・商店街は閉店後も動線として良好な明るさを確保します。
- ・良好な視点場である鍋冠山への安全安心な動線づくりを行います。
- ・ランドマークの背景となる住宅地では、長崎らしい防犯灯による演出を検討します。

### ■基本原則

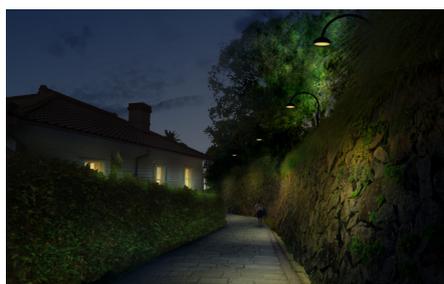
項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	1-15Lx程度、繊細な建物へのライトアップ
色温度	2400-2700K程度
鉛直面輝度	建物のファサードや塀、緑の垣根を照らす
グレア対策	ポール灯を減らし鉛直面への照明、グレアに配慮した防犯灯
演色性の優先度	Ra90以上
器具	LEDを基本、洋風のデザインに統一
オペレーション	時間によるライトダウンを検討、住民・観光客いずれにも快適な光環境



### ■整備イメージ



祈念坂



オランダ坂



グラバー通り

# 春雨通りエリア

## ■コンセプト

### 賑わいを発信する光

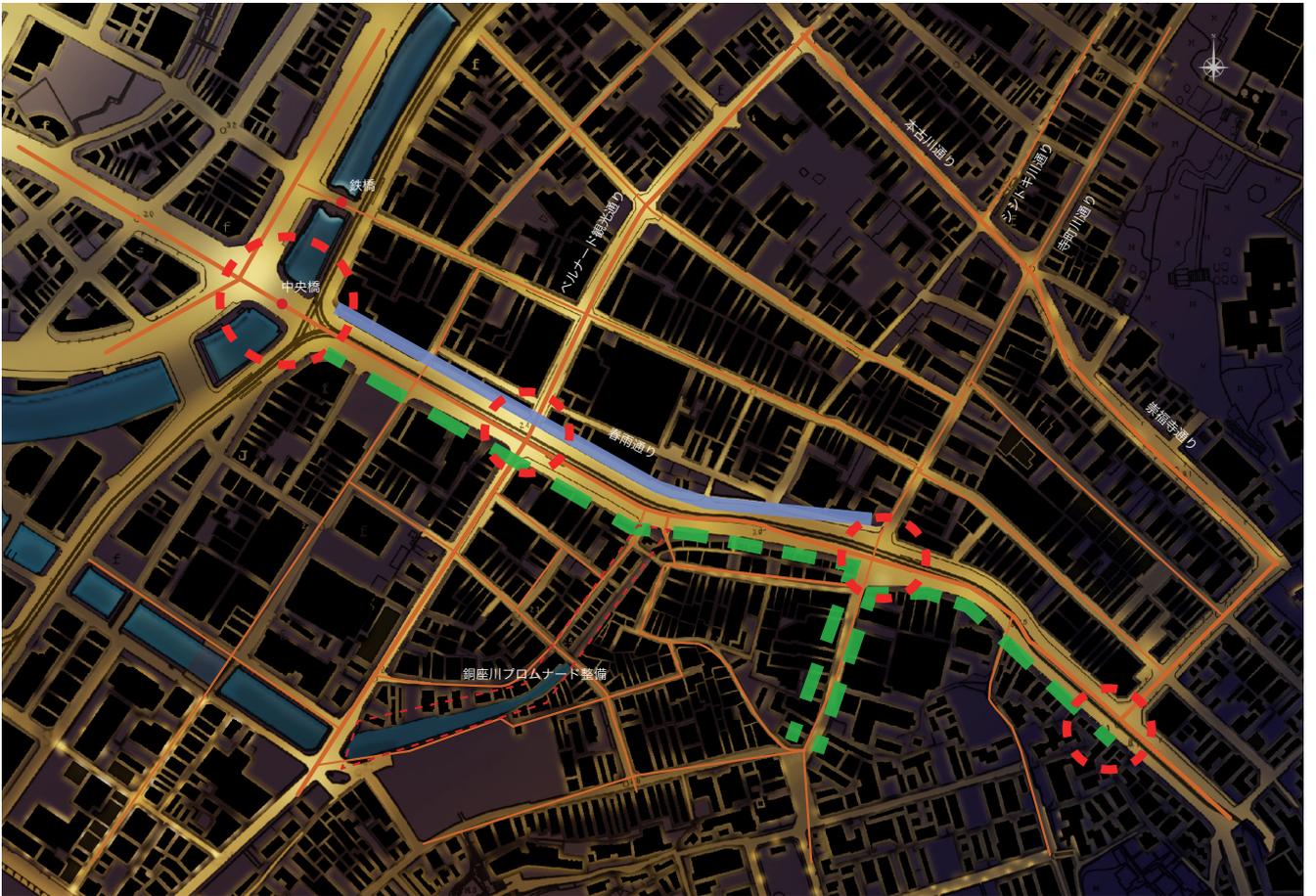
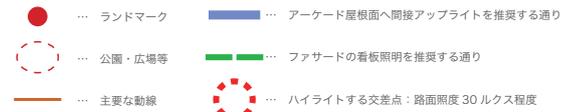
県下最大の繁華街として、高揚感や楽しさを印象的に演出するとともに、都市照明の基本的な品質もしっかりと確保しながら、長崎における賑わいの発信地となる夜間景観の形成を目指します。

## ■方針

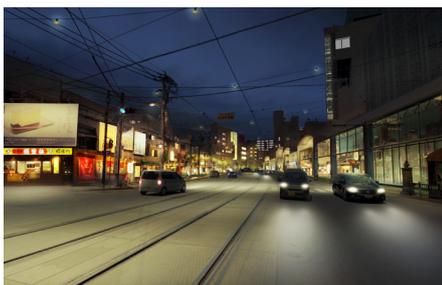
- ・春雨通りは、全体的に明るさを確保しながら、シンボルロードらしく表情にメリハリを持たせます。
- ・デザイン性の高い建物ファサード照明や看板照明を推奨します。
- ・銅座川プロムナードの整備は、河川を活かした照明とし、夜間の新たな憩いの場所になるよう検討を進めます。

## ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	2-30Lx 程度
色温度	3000-3500K 程度
鉛直面輝度	看板、アーケード、天井、柱へ演出的な照明
グレア対策	グレアに配慮した器具選定
演色性の優先度	Ra90 以上
器具	特記事項なし
オペレーション	更に魅力が向上する検討



## ■整備イメージ



春雨通り

## 市役所通りエリア

### ■コンセプト

#### 都市の格を感じる光

長崎市民が誇れるシンボルロードとして、風格ある夜間景観を目指します。

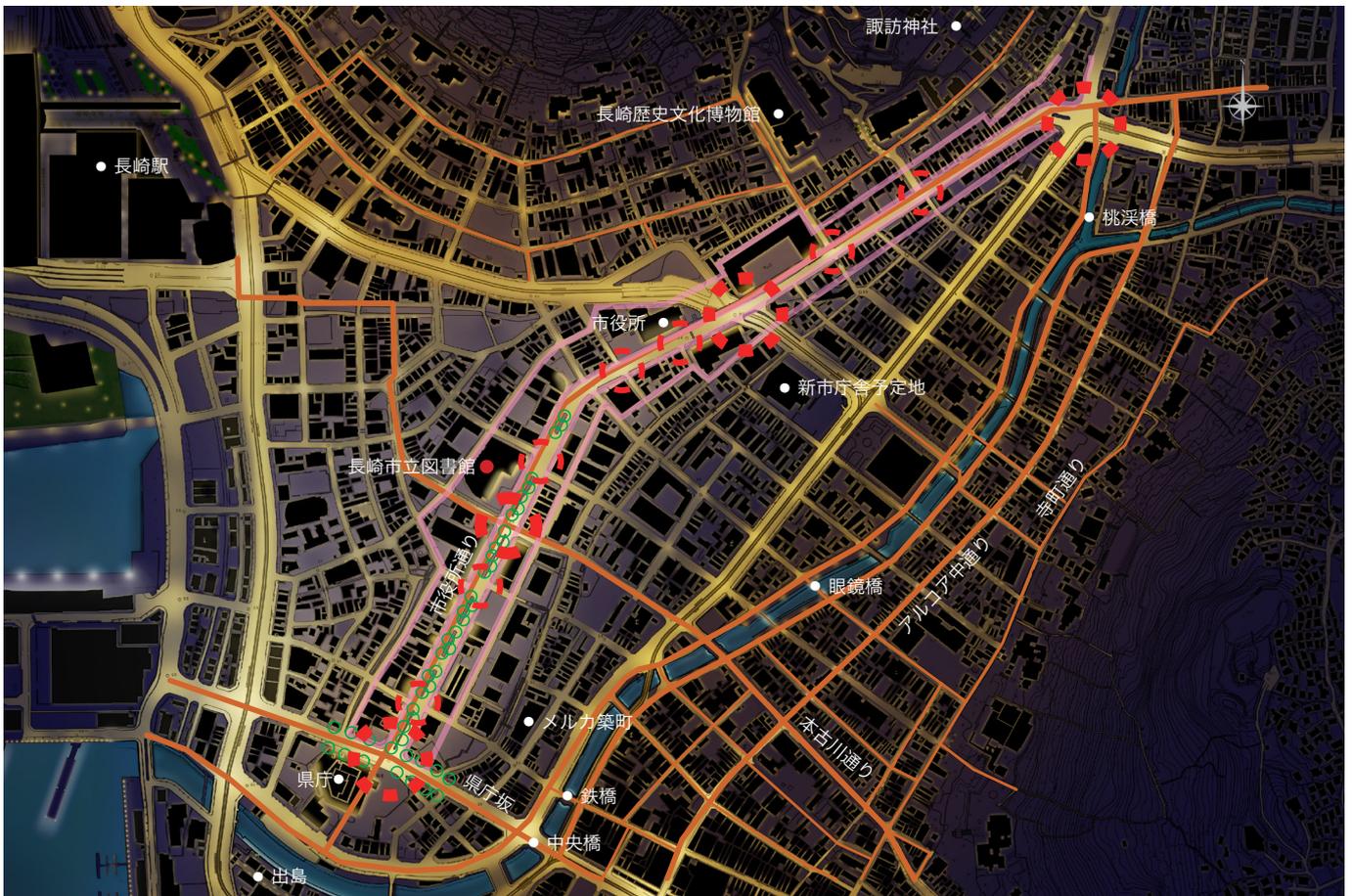
### ■方針

- ・道路は明るさにメリハリのある活動的な大通りとしします。
- ・沿道建物については、周辺に配慮しながらファサード（正面）の照明や1階部分への照明の存置を推奨し、通りの奥行き感を形成するとともに、歩道の安心感を高めます。
- ・植栽帯や街路樹については、演色性の良い光源でシンボリックに照らします。

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	道路 2-3Lx 程度、交差点 10-20Lx 程度、歩道 1-10Lx 程度
色温度	3000-3500K 程度
鉛直面輝度	沿道の建物や中央分離帯の植栽ライトアップ
グレア対策	グレアに配慮した器具選定
演色性の優先度	Ra80 以上
器具	配光制御された道路灯
オペレーション	特記事項なし

- … ランドマーク
- … 公園・広場等
- … 主要な動線
- … ファサード照明や歩道への漏れ光となる照明を推奨するエリア
- … ハイライトする交差点：路面照度 30ルクス程度
- … ハイライトする交差点：路面照度 20ルクス程度
- … 植栽帯のライトアップ



### ■整備イメージ



長崎市立図書館前



県庁坂

## 長崎駅周辺エリア

### ■コンセプト

#### 長崎の顔にふさわしい光

市民・来訪者の交流・にぎわい空間となる、長崎の新たな陸の玄関口を形成する夜間景観の形成を目指します。

### ■方針

長崎駅周辺については、長崎駅周辺エリアデザイン指針や長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画との整合を図ります。現在進めている検討・設計・作業の中でイメージの検討を行います。

[長崎駅周辺エリアデザイン指針における心得]

世界新三大夜景にふさわしい光を演出する

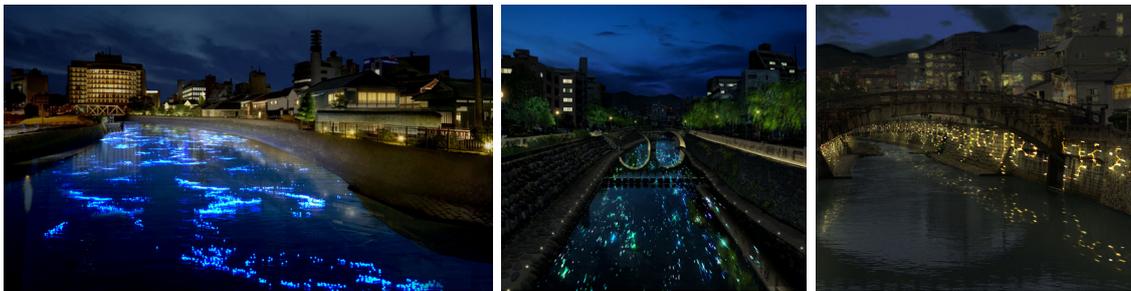
- ・光の演出で、長崎の夜景をさらに魅力的にします。
- ・稲佐山などの視点場や山腹からの夜景の見え方に配慮する

### ■基本原則

項目	夜間景観向上のための基本原則
陰影の考え方	駅前広場・ロータリー・車道 2-5Lx 程度 交差点・商店街 5-30Lx 程度
色温度	3000K 程度
鉛直面輝度	ファサード照明を推奨
グレア対策	グレアに配慮した器具選定
演色性の優先度	Ra90 以上
器具	配光制御されたポール灯
オペレーション	時間によるライトダウンを検討 市内のイベントに合わせた演出を検討

## 5 光の歳時記

長崎のまちに埋もれている様々なストーリーを光によって呼び起こすような、まち全体での光のオペレーションについて、市民の皆さんと検討し、取り組みます。



(例) 中島川や浦上川から海へ、鎮魂の光



(例) 精霊流しの道筋に、闇が爆ぜるライトダウン

## 6 今後の取り組み

事業の着手時期については、長崎市で節目となる年や事業・イベントの開催等にかかる効果を最大限にするための整備を優先的に実施していきます。なお、実施にあたっては、民間事業者や地域住民と連携し、官民協働での整備を目指します。

- ① 出島表門橋の架橋に向けた整備（出島地区、中島川・寺町エリア）
- ② 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録に向けた整備（東山手・南山手、西坂・諏訪の森エリア）
- ③ 被爆 75 周年に向けた整備（平和公園エリア）
- ④ 九州新幹線西九州ルート開業に向けた整備（長崎駅周辺エリア）
- ⑤ その他の地区整備（丸山、館内・新地、春雨通り、市役所通りエリア）

年	事業・イベント
H29 (2017)	・ 出島表門橋架橋 ・ 新長崎県庁舎完成
H30 (2018)	・ 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録審査
H31 (2019)	・ ラグビー W 杯 (長崎におけるスコットランドチームの事前合宿)
H32 (2020)	・ 被爆 75 周年 ・ 東京オリンピック・パラリンピック
H33 (2021)	
H34 (2022) ~	・ 新長崎市役所庁舎の完成 ・ 九州新幹線西九州ルート開業